

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212W303	看護管理学 (Introduction to Nursing Management and Leadership)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	3	後期	10月集中	原田千鶴 大分大学附属病院 医療安全管理部 GRM、 " 感染管理担当看護管理者 内線 5035 charada@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

質の高い看護サービスを提供するための看護管理の基礎知識と看護サービスの質を保証する仕組み、キャリア発達の基礎知識を学ぶ。また、看護専門職としての自己のキャリアイメージを描く機会とする

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 看護の動向に関心を持ちサービスとしての看護を説明できる				○			
2. 質の高い看護サービスを提供するための仕組みや過程を説明できる	◎						
3. 管理的観点から感染制御の必要性和実際を説明できる	◎						
4. 管理的観点から医療安全の確保対策と実際を説明できる	◎						
5. 看護専門職としての自己の将来のキャリアイメージを表現できる						○	

【授業の内容】

回数	学習内容	方法
1	看護サービス管理とは	講義
2	マネジメント理論	講義
3	リーダーシップ理論	講義
4	看護サービスの質の評価と保証	講義
5	看護サービスマネジメントの実際① 感染管理とリスクマネジメント	講義
6	看護サービスマネジメントの実際② 医療安全管理とリスクマネジメント	講義・演習
7	看護サービスマネジメントの実際③ 医療安全トレーニング	講義・演習
8	チーム医療と多職種連携	演習
9	社会の中の看護専門職 (日本看護協会) / 看護専門職のプロフェッショナリズム	講義・演習
10	看護専門職としてのキャリア開発	講義・演習
11	看護専門職のプロフェッショナリズム	講義・演習
テスト	最終日 単位取得テスト	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	キャリア自己診断、リフレクションシート、期末テスト	医療機関や職能団体の看護管理者による講義や演習
B：意見の表現・交換	○	演習成果発表・バズセッション	
C：応用志向	○	医療安全トレーニング (KYT・STEPPS)	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	講義・各演習の準備・発表準備 (1h)
事後学修	振り返り (1h)

【教科書】 上泉和子 看護の統合と実践[1] 看護管理 第11版 医学書院 2024年

【参考書】 適宜提示

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
省察ミニッツレポート	30%	○		○	○	○
最終日 単位取得テスト	70%	○	○			

【注意事項】 講義資料はMoodle上で配信する

【備考】 講義最終日は、の単位取得テスト (60%未満) は、学期末に再テストを行う

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	原田千鶴 附属病院看護管理者
教員の実務経験		看護師・看護管理者 原田千鶴
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者		感染制御部看護管理者 インфекションコントロールナース 眞名井理恵 医療安全管理部看護管理者 医療安全管理部 GRM 首藤 芳美
実務経験をいかした教育内容		附属病院でのインフェクションコントロール看護師やリスクマネージャーの管理行動の実務を活かし、マネジメントに必要な基本的知識について学ぶ リスクマネジメントは、演習を通じて学生のリスク感性、チームワークにおけるコミュニケーション、リスクの予防について学ぶ
授業形態		対面講義・演習